

小木曾さんの

「読売新聞（ヨミウリオンライン） ネットお悩み相談」

## アプリ制作者になれる、一番の近道は？



みなさんこんにちは。今回は皆さんからよく聞かれる質問  
「どんな勉強をすれば、将来ゲームやアプリを作る人になれるか？」

について、なんですが……眠い！ぬるい！！まどろっこしい！！何をのんびりしたことを言っているんです？ いったい誰が「ゲーム・アプリを作るためには〇〇を勉強しなければいけない」って決めたんですか？ そんなルール、聞いたこともないですね。私の答えは

「将来とかのんびりしたこと言っていないで、今日、今から作れば?!」。

AndroidアプリならWindowsパソコン、iOSアプリ(iPhoneなど)ならMacが1台あれば、あとは何もいりません。iOSアプリの場合、アプリを配布する時には数千円の費用が必要ですが、作るだけならタダですよ。

そして「アプリの作り方なんて知らないし、わからない」。これもナシです。世の中には「初めてのアプリ」みたいな本が、びっくりするほどたくさん売られていますし、本を買わなかったって、インターネットで

### 「アプリ 作成 初めて」

なんて検索すれば、いろいろなページが見つかります。そのページに書いてある通りに作っていけば、アプリが出来上がっちゃうんです。そうやって実際にアプリを作っちゃった小学生だっていますよ。

全く新しいアプリじゃなくてもいい。「今使っているアプリのここが物足りない」とか「これを我慢して使っている」なんてことがありますよね。もしその部分を改良したアプリを作れば、同じように感じている他の人たちが、喜んで使ってくれると思いませんか？

やりたいと思ったらやってみればいい。ロケットを飛ばすよりはるかに簡単です。失敗したって何も失わないでしょ？ うまくいなくても「やってみた」という経験が手に入ります。

昔だったら、アプリ(ソフト)を作るためには今よりもっといろいろな知識が必要でしたし、世界中に届けるための仕組みもありませんでした。今は「良いもの」を作れば、ちゃんと世界中に届けられる仕組みがあって、世界中の人が評価してくれる、平等なすてきな時代なんです。大人になるまで待たなくていい。やりたいと思ったら、すぐに始めてくださいな。

ではまた。

小木曾 健（おぎそ・けん）



2015年02月04日 09時00分 Copyright © The Yomiuri Shimbun

イラスト 速水えり